

室名	人員(人)	特記	面積	備考
<b>事務所部門</b>				
(社)沖縄県教職員共済会	26	4部門構成＋沖縄県教職員互助会(別紙③参照)	450㎡	事務所・会議室併設
役員室・応接室		理事長室30㎡、理事室12㎡×5室:1室は下記応接室として使用する(合計90㎡)		1室は応接・相談室として利用
会議室		33㎡程度として、会報誌の梱包など作業場としても使用する		
休憩室・他		男女別の休憩室内または付近に、ロッカー室、洗面所、湯沸し、シャワー室を男女別に設ける		
倉庫		現状を参考に合計で45㎡程度		分散した配置も可能
金庫室		耐火金庫室は現状を参考に35㎡程度		
その他		受付、会員相談ブース(1か所)を設置する		受付は建物全体のフロント機能を受け持つ
沖縄県教職員互助会	3	沖縄県教職員共済会内に配置、ローパーテーション程度で仕切る		
教職員共済生協沖縄県事業所	13	ミーティングスペースを設け、室の施錠ができるようにする	100㎡	来客が多い事務所であることを考慮
(株)沖縄経済情報サービス	10	事務室に加え、電算室(2ラック程度)を設け、専用の非常発電源を計画する	100㎡	事務所、人の出入りの少ない階へ配置
賃貸部分(A)	9	事務所内に委員長室及び応接室を設け、会議室(10人)程度を併設する	265㎡	事務所・会議室併設
賃貸部分(B)	4	事務所内にミーティングスペースを併設する	50㎡	事務所、打合わせスペース併設
賃貸部分(C)	常勤なし	小規模な(1対1)相談室程度とする	10㎡	個室、人の出入りが少ない階へ配置
賃貸部分(D)	将来	当初は会議室として運用し、後に事務所とする	33㎡	会議室から事務室(後に変更)
<b>その他の部門</b>	<b>室数</b>			
大ホール	1室	会議机に対して3人掛け(スクール形式)にて240人程度を収容する	350㎡	2室に分離した利用もする
舞台		舞台を常設したものとする(奥行4m程度)		舞台横に控室(10㎡程度)を設置
中会議室	1室	様々な利用形式を考慮して、可動間仕切りにて4室に分離した利用を可能とする	130㎡	32.5㎡×4室＝130㎡として計画
小会議室	1室	様々な利用形式を考慮して、可動間仕切りにて2室に分離した利用を可能とする	80㎡	40㎡×2室＝80㎡として計画
倉庫		ホール・会議室の机・椅子を収納する倉庫を設ける	80㎡	分散した配置も可能
パントリー	1室	大ホール、中・小会議室での飲食提供の配膳等を行う	適宜	食堂厨房より飲食物を提供
食堂(厨房も含む)	1室	食堂内に間仕切りにて小部屋を3室設け、このうちの2室を合わせて中規模室を計画する	400㎡	小規模:10名程度、中規模:20名程度
営業時間11:00～22:00 (一般への営業も行う)		小部屋の一つを和室(掘りこたつ)を想定している		食堂は高齢者グループが利用
その他		食堂内の厨房設備及び内装仕上げ、基本照明以外等は別途工事として想定している		小部屋配置は図面へ記入
		その他に必要と考える室を適宜配置する		
給湯室	各階1室	事務所部門等の各階に適宜配置する	適宜	
男女便所		一般便所に加え、車いす対応等も適宜計画する	適宜	
玄関エントランス		外部に雨、日よけ用に庇等を設ける	適宜	
エレベーター		台数等は適宜計画する	適宜	
ホール・廊下等の共用部分		必要に応じて適宜計画する	適宜	
電気・設備等関連諸室		必要に応じて必要諸室を計画する	適宜	メンテナンスなどを考慮する
清掃員控室	1室	外部委託する清掃員の控室を設け、用具等も収納できる計画とする	適宜	
警備室	1室	夜間出入り口、巡回警備員室	適宜	
駐車場		80台以上を収容する(一部にゲート式(発券機)等による機械による管理を行う)		目視により確認しにくい場所は機械で管理
その他		その他に適宜に必要と思われる共用部分等を計画する	適宜	

## 各諸室配置等への要望事項

- ・(社)沖縄県教職員共済会、沖縄県教職員互助会、教職員共済生協沖縄県事務所は、同一階に配置する
- ・電気、設備を含めて建物全体で省エネルギー化へ向けて計画する
- ・概ねの建設工事費から勘案して、共用部分(ホールやロビーを含む)などを計画する